

『渦巻について』余談と訂正

木村 竜 治\*

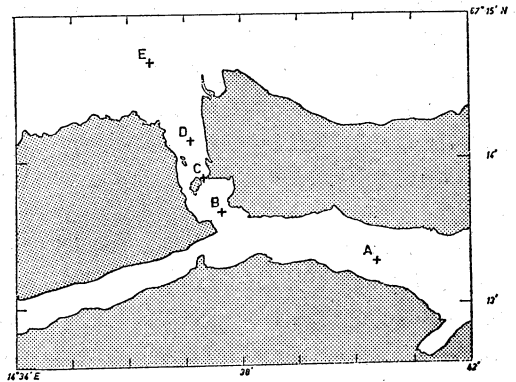
3月号の普及講座『渦巻について』の冒頭でポーの小説「メールストローム」を引用しましたが、はたして直径が1マイルもあるような渦巻が潮流で生じるのか疑問に思い、ベルゲン大学で海洋物理学を研究しているノルウェー人に関い合わせてみましたところ、以下のような返事が来ました。

「Malstrømmen という名前は現在使われておりませんし、どの潮流を指すのかも不明です。しかし、確実にいえる事は、今日、同じような小説を書こうと思うなら、Saltstrømmen が選ばれるだろう、という事です。ノルウェーの潮流の中でも、とび抜けて有名なものです。」

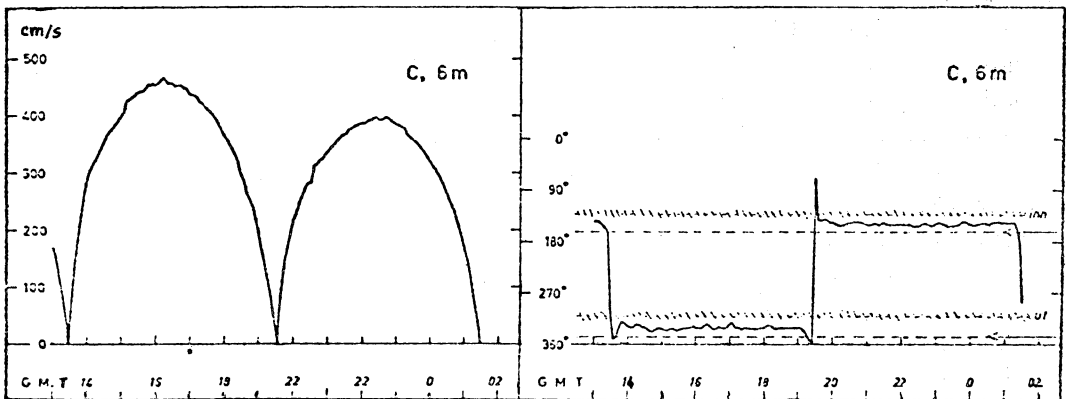
この手紙には、Saltstrømmen に関するレポートが同封されていました。その位置を第1図に、1942年10月10～11日にかけてのC点（深さ30m、海峡の幅は200m）における流速と流向の日変化を第2図に引用します。

このレポートから察するに、Saltstrømmen の最大流速は、10ノット（5 m/sec）程度で、この値は鳴門海峡

の潮流とはほぼ同じです。したがって、直径1マイルの渦ができるというのは、フィクションのようです。解説の中で書きました「ノルウェーでは有名なメールストローム」という言葉は削除していただければ幸いです。



第1図 Saltstrømmen の位置と流速測定地点



第2図 C点における流速（左図）と流向（右図）の日変化、深度6mにおける観測。

\* R. Kimura, 東大海洋研究所